



YMCAイングリッシュ講師と考える 「世界の環境問題」

国連の制定する「国際デー」に6月5日「世界環境デー」、6月8日「世界海洋デー」があり、YMCAイングリッシュでは、6月の1週間「環境week」ということで、英語で環境について学ぶ週があります。子どもたちにはわかりやすく環境問題を理解してもらうため、身近な事例を使いますが、この身の回りにある事例が、「世界の環境問題」につながっていることにも気づいてもらえると思うと思っています。YMCAイングリッシュの外国人講師は3名、フィリピン、ジャマイカ、ジンバブエ出身です。さまざまなところから来ていますが、環境問題はどこも共通しているのをぜひお読みください。

Chel (Philippines)

私の母国フィリピンは、複雑に絡み合った環境問題があり、深く懸念しています。森林伐採により、かつて緑豊だった森林は劇的に減少し、生態系に大きな影響を与えたり、土砂崩れの被害を受けやすくなったりしており、こうしたニュースをよく目にします。プラスチック汚染は目に見えて深刻で、使い捨てプラスチックで海岸線が埋め尽くされ、豊かなサンゴ礁の海洋生物に悪影響を与えています。特にマニラのような都市部における水質汚染や大気汚染も地域社会の健康をも脅かしています。気候変動はこれらの問題を悪化させ、海面上昇は多くの沿岸地域に直接的な脅威をもたらしています。フィリピンの生活が自然環境にどれほど依存しているかわかるかわかれれば、これらの問題の緊急性もわかります。フィリピンの美しさと資源を未来の世代のために守ることは、私たち皆の共通の責任だと思っています。

(原文) The Philippines, my motherland, faces a complex web of environmental challenges that deeply concern me. Deforestation has drastically reduced our once lush forests, impacting biodiversity and making us more vulnerable to landslides, a frequent occurrence I remember from news back home. Plastic pollution is alarmingly visible; I can almost picture the coastlines choked with single-use plastics, harming marine life in our rich coral reefs. Water pollution, especially in urban areas like Manila, threatens the health of communities. Air pollution is another invisible enemy, affecting respiratory health. Climate change exacerbates these issues, with rising sea levels posing a direct threat to our numerous coastal communities. Knowing how much Filipinos rely on the natural environment for their livelihoods, these issues feel particularly urgent. It's a shared responsibility to protect the beauty and resources of the Philippines for future generations.

Jody (Jamaica)

ジャマイカには、生態系、経済、そして公衆衛生を脅かす深刻な社会問題があります。大きな問題の一つは、違法伐採、農業、都市拡大によって引き起こされる森林破壊です。これは土壌浸食、水質汚染、そして生物多様性の喪失につながっています。もう一つの深刻な問題は、海洋汚染です。家庭、企業、そして旅行者などから出るゴミは、河川や海に流れ込み、サンゴ礁を破壊し、海洋生物に悪影響を及ぼしています。

気候変動の影響も拡大しており、ハリケーンの頻発、海面上昇、そして干ばつの長期化が顕著になっています。これらは農業、水、そして沿岸地域に悪影響を及ぼしています。また、不適切な廃棄物処理も大きな問題になっており、リサイクル法規制の不備により、プラスチック廃棄物やゴミが溝、道路、水路に堆積しています。特にキングストンのような都市部では、自動車や産業からの大気汚染が健康リスクをもたらししています。政府や環境団体は森林再生、海洋保護区の設定、環境教育などの取り組みをスタートしていますが、もっと対策が必要です。自然の美しさを守りながら持続可能な開発のために、ジャマイカは環境政策を強化し、よりクリーンなインフラに投資し、私たち市民を環境保護活動に参加させる必要があると思っています。島の未来は、責任ある環境管理にかかっていると思います。

(原文) Jamaica faces several serious environmental challenges that threaten its ecosystems, economy, and public health. One major issue is deforestation, caused by illegal logging, agriculture, and urban expansion. This leads to soil erosion, reduced water quality, and loss of biodiversity. Another critical problem is coastal and marine pollution. Waste from homes, businesses, and tourism often flows into rivers and the sea, damaging coral reefs and harming marine life. Climate change is also having a growing impact. Jamaica is experiencing more frequent hurricanes, rising sea levels, and longer droughts. These affect agriculture, water supplies, and coastal communities. Improper waste disposal is another major concern, with plastic waste and garbage building up in gullies, streets, and waterways due to limited recycling and weak enforcement. Air pollution from cars and industries, especially in urban areas like Kingston, also poses health risks. While the government and environmental groups have launched efforts such as reforestation, marine protection zones, and environmental education, more needs to be done. To protect its natural beauty and support sustainable development, Jamaica must strengthen its environmental policies, invest in cleaner infrastructure, and involve citizens in conservation. The island's future depends on responsible environmental stewardship.

Lee-Anne (Zimbabwe)

ジンバブエは美しい国ですが、多くの環境問題があります。大きな問題の一つは森林破壊です。人々は薪や農地のために木々を伐採しすぎていて、これにより土壌浸食が起こり、土地が乾燥して利用しにくくなっています。水も深刻な問題となっています。汚染と鉱業によって、川や湖は干上がったり、汚れたりしています。多くの人が飲料水や農地に使うきれいな水にアクセスできていません。また、適切な規則のない鉱業は土地を傷つけ、水を汚染します。過剰な農業や放牧も土壌を弱らせ、乾燥させます。こうして砂漠化となっています。気候変動は気象条件をさらに厳しくして、現在、干ばつが増加しており、作物や食糧供給に悪影響を及ぼしています。ゾウやサイなどの野生動物は、密猟や生息地の喪失により危険にさらされています。ジンバブエは、より多くの木を植え、水を節約し、クリーンエネルギーを使用し、動物を大切にすることで、環境を守る必要があります。子どもから大人まで、誰もが毎日学び、小さな行動を起こすことで貢献できると考えています。

(原文) Zimbabwe is a beautiful country, but it is facing many environmental problems. One big issue is deforestation — people are cutting down too many trees for firewood and farming. This causes soil erosion and makes the land dry and hard to use. Water is also becoming a serious problem. Rivers and lakes are drying up or getting dirty because of pollution and mining. Many people don't have clean water to drink or use on their farms. Also mining without proper rules damages the land and pollutes water. Over-farming and overgrazing also make the soil weak and dry — this is called desertification. Climate change is making the weather more difficult. There are more droughts now, which hurts crops and food supply. Wild animals like elephants and rhinos are in danger because of poaching and losing their homes. Zimbabwe needs to protect its environment by planting more trees, saving water, using clean energy, and caring for animals. Everyone — from students to parents — can help by learning more and taking small actions every day.

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2025 年度とちぎYMCA年間聖句

《善きサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章 25節～37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園

「 遠足の様子 」



■年長クラス
大型バス 2 台で那須どうぶつ王国に行ってきました。雨が降っていましたが、子どもたちは朝から元気いっぱい!雨を吹き飛ばそう!とバスの中でも元気に歌やレクリエーションを楽しみました。到着後は雨具を自分たちで着て、園内散策スタート。迫力満点のトラさんや、かわいいペンギんさんたち、目の前を通るカメさんまで!子どもたちは終始動物たちに釘付けでした。そして、「お先にどうぞ」と動物がよく見える場所を譲り合う姿も見られ、年長さんらしい成長が見られた遠足でした。



■年中クラス
気持ちのいい晴天の中、なかがわ水遊園に遠足に出掛けました。大型バスに乗って、歌を歌ったり、ゲームをしたり、車内は大盛り上がりで、楽しく向かいました。水遊園では、沢山の個性豊かなお魚たちを観察しました。移動するたびに「先生みてみて!」と興奮気味な子どもたち。見どころポイントのトンネルの水槽では、2mを超えるアマゾン最大の巨大魚ピラルクーをみて「おおき〜い!」と目を真ん丸にして驚いていました。楽しくお魚を見た後は、芝の広場の屋根のあるスペースで、大好きなお弁当を美味しく頂き、食後はアスレチックで遊びました。年中児 74 名全員で、楽しく遠足に行くことができました。

■年少クラス
皆で行く初めての春の遠足。遠足までの日を楽しみにしながら宇都宮動物園まで行って来ました。汽車に乗り、動物を間近で見ることができ、沢山の動物たちに会いました!初めての遠足。バスの中でもワクワクしながら動物園に向かった子どもたち。園内では、友だちと手を繋いで歩きながら目を輝かせている子どもたちの姿を見ることが出来て、とっても嬉しい気持ちになりました。また一つ楽しい年少さんでの思い出を増やすことが出来て本当に良かったです。

子どもの家だより

～清原東子どもの家 イーストクラブ～

「 生活の様子より 」



今年度が始まり、早くも 2 か月が経ちました。1 年生たちも少しずつイーストクラブでの生活に慣れ、友だちとの関わりが増えてきました。最近では、楽しそうにおしゃべりをする姿や、「○○ちゃん、今日は外でボール遊びしようよ!」と誘い合っ外遊びを楽しむ様子が見られます。外遊びでは、サッカーや野球、ドッジボール、バスケットボール、ブランコ、一輪車など、さまざまな遊びが繰り広げられており、それぞれが自分のやりたい遊びに意欲的に取り組んでいます。

また、5 月には 1 年生にとって初めての誕生日会 (4 月・5 月生まれ) を開催しました。みんなで「Happy Birthday」の歌を歌いながらお祝いし、誕生日を迎えた子どもたちも、お祝いしてくれた子どもたちも、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。年度の始まりからわずか 2 か月ですが、子どもたちが日々の生活の中で少しずつ成長している様子を感じられ、私たち支援員もとても嬉しく思っています。これからも、子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所をつくっていきけるよう、支援員一同努めてまいります。



主任支援員 山本 加奈枝

宇都宮市青少年活動センター(トライ東)

「 出張!あそぼの家!親子deクッキング 」



ようとう保育園

「 2025年度運動会 (3歳児うぐいす組親子競技) 」



6 月 14 日 (土)、トライ東にて『2025 年度運動会』を開催しました。幼児組に進級した子どもたちは、かけっこやダンス、玉入れなどたくさんの競技に全力で参加しました。広い会場に不安な表情を見せていた子や泣いてしまう子もいましたが、「ママやパパが応援してくれているよ」と伝えたり、応援席から見ていてくれる姿を見つけると、気持ちを切り替えることができました。その中でも親子競技は、おうちの方と協力して行う内容で、笑顔があふれました。普段の園生活で人気のパズルあそびを取り入れた内容で、完成したときの嬉しそうな表情を間近で感じてもらえるよう工夫しました。



パズルの絵柄は、どんな動物の真似ができるかを子どもたちと考え、おうちの方の足に乗って歩く (ペンギン)、ぎゅーっと抱っこして進む (コアラ)、おんぶしてもら (馬)、一緒にジャンプする (ウサギ) と、4 種類の動物になりきる動きを決めました。2 ピースのパズルを得意げに完成させて、動物になりきりふれあう時間を満喫し、最後は縄跳びの縄を輪にしたものをくぐりゴール!子どもたちからは「またやりたい!」

「運動会楽しかったよ」「パパとやったんだ」と歓喜の声があがりました。会を通して、お子さまの心身ともに成長した姿を感じ、共に汗を流していただきましたこと、感謝申し上げます。これからも体を動かすことが楽しいと感じる遊びを保育の中に取り入れ、お子さまの健やかな成長のサポートをしてまいります。

うぐいす組担任 増田 朋江・齋藤 大貴

デイホームきよはら

「 みんなでお出かけしました! 」



5 月は「道の駅」や「バラ園」へ外出しました。ちょうど見頃を迎えたバラ園では、お弁当を広げながら美しい花々を楽しみ、参加された皆さんからも「とても気持ちの良い時間だった」と嬉しい声が聞かれました。毎回の外出企画は、多くの方が楽しみにされており、皆さんの笑顔が印象的です。6 月は、「かましん」「オパールン」へのお買い物外出や、入浴イベントを企画いたしました。引き続き、日常の中での楽しみとなるような企画を実施してまいります。



児童遊園(あそぼの家)を飛び出して、宇都宮市青少年活動センター(トライ東)で開催した『出張!あそぼの家 親子deクッキング』の様子をお届けいたします。当日は、親子で「たまごサンド」と「フルーツポンチ」づくりに挑戦しました。

いざクッキングが始まると、子どもたちは元気いっぱいに取り組み、保護者の方と協力しながら、楽しそうに調理を進めていました。「普段はなかなか一緒に料理をする時間が取れないけれど、こういう機会があると安心して楽しめます!」「苦手だったはずの食材を、自分で作ったことで食べてくれて驚きました」といった保護者の方からのうれしい声も聞かれました。

みんなで作って、味わって、たくさん笑ったひととき。「食」をきっかけに、親子の時間がより楽しく、あたたかく感じられる時間となりました。

児童遊園あそぼの家について

「児童遊園 あそぼの家」は、宇都宮市青少年活動センター(トライ東)の中にある室内あそび場です。0歳から小学生までのお子様とその保護者の方が対象で、雨の日でも安心して遊べる環境が整っています。館内には絵本やおもちゃがたくさんあり、保育士資格を持つスタッフが常駐しています。お子様のあそびを見守りながら、保護者の方の子育てに関するご相談にも対応しています。

※あそぼの家は託児施設ではありません。必ず保護者の方と一緒にご利用ください。

ポジティブネット YMCA 国際協力募金



被災したネピドーYMCA



【ミャンマー地震】募金期間延長～9月末日まで引き続きご支援をお願いします。

3月28日に発生したミャンマーの大地震から4カ月が経とうとしています。犠牲者は3700人を越え、被災地では依然として多くの方が緊急支援を必要としています。国連人道問題調整事務所（OCHA）は5月23日、内戦の影響と合わせると国内避難民は過去最悪の350万人に達したと公表され、かつてない人道危機が報じられています。

震源地に近いマンダレー YMCA は、建物の一部が損壊したものの、発災直後から食料や水など救援物資を配布して支援活動に奔走しており、各国 YMCA はそれぞれ募金活動を行って現地をサポートしています。

日本の YMCA は、30年以上前からスタディーツアーやボランティア派遣を行うなどミャンマー各地の YMCA と親交があることから、地震直後から連絡を取り、募金を行っています。4月30日には、オンラインによる近況報告会を開催いたしました。国内外から約100人が参加しました。

報告会で、アジア・太平洋 YMCA 同盟（APAY）のベンセン主事は、現地状況と各国 YMCA による支援計画について説明し、またミャンマー出身で大阪・高槻バプテスト教会牧師のマキンサンサンアウンさんは、「2020年のコロナ禍以降ミャンマーでは、2021年に軍事クーデターが起き、翌年には国軍が民家1200軒を焼き討ちした。2023年には食糧危機、2024年には洪水、今も軍事政権下で投獄されている人たちがいる」と、ミャンマーの惨状を語りました。

まもなくミャンマーは雨期になり、大雨による災害も懸念されます。

日本の YMCA は引き続きミャンマーを支援するため、9月まで募金活動を延長することといたしました。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



【募金はこちらへ】

◆各 YMCA 受付にて

◆郵便振替

名称：公益財団法人とちぎ YMCA 募金口

口座番号：00340-8-40685

＊通信欄に「ミャンマー地震」と記載ください

◆クレジットカード

左記 QR コードから▶



宇都宮市まちづくりセンター “まちぴあ” です!

2025 年 4 月より、公益財団法人とちぎ YMCA が指定管理者として運営を行っている『宇都宮市まちづくりセンター（まちぴあ）』。今回は、まちぴあの最近の様子を皆さまにご紹介いたします。

公式ホームページ、リニューアルいたしました!



6 月 1 日より、公式ホームページを全面リニューアルしました!新しいサイトは、つばめソリューション株式会社様のご協力により、より見やすく、使いやすく生まれ変わりました。今後も、皆さまにとって役立つ情報やコンテンツをお届けしてまいりますので、ぜひご活用ください。たくさんのアクセスをお待ちしております!

URL : <https://u-machipia.org/>
左記 QR コードからもご確認いただけます!



駄菓子や「まちぴ屋」 OPEN !



5 月 26 日、宇都宮市まちづくりセンター「まちぴあ」に駄菓子や「まちぴ屋」がオープンしました!「まちぴ屋」は、地域の皆さんが気軽に集い、交流できるきっかけとなることを目指しています。オープン初日には、利用者の皆さんから「開店おめでとうございます!」との温かいお声をいただきました。早速、利用者の皆さんが「懐かしい〜!」と笑顔を浮かべながら、お仲間と楽しく食事をされており、子どもから年配の方まで、世代を超えて賑やかなひとときが広がっています。

「まちぴ屋」では、購入した駄菓子をその場でお召し上がりいただけるスペースもご用意しています。施設利用者以外の方も大歓迎ですので、お気軽にお立ち寄りください。

森 希実

宇都宮市青少年活動センター「トライ東」『あそぼまつり』を開催します!

高校生ボランティアグループ「つぼみ」 つぼみ通信 vol.21



つぼみ食堂&ワイズメンズクラブ東日本区大会 発表のご報告



6 月 7 日 (土) に、今年度最初の「つぼみ食堂」を開催しました。今回のメニューは「たけのご飯・わかめスープ」。久しぶりの開催となりましたが、リーダーたちが協力し合い、スムーズに運営することができました。来場された皆さんの笑顔を見ることができ、とても嬉しく、温かな時間となりました。

また、同日「ワイズメンズクラブ東日本区大会」にて、大学生ユースボランティアリーダーと OBOG 会きらりのリーダーと共に活動紹介の発表を行いました。会場はライトキューブ宇都宮で、ワイズに皆さまや全国の YMCA 職員に向けて、日頃の活動を紹介しました。この発表に向けて、リーダーたちは自分たちで台本を作成し、先輩方の助言を受けながら練習を重ねてきました。当日は緊張しながらも堂々と発表を行い、大きな成長の機会となりました。

次回の「つぼみ食堂」は・・・
7 月 19 日 (土) 16:00 ~ 18:00 開催予定です。
次回もぜひお楽しみに!
【開催場所】：宇都宮市青少年活動センター (トライ東)
宇都宮市今泉町 3007 番地 / 028-663-315



※「つぼみ」は、青少年活動センターを拠点に活動する高校生ボランティアグループです。学年や学校の垣根を越えたメンバーが集い、イベントの運営補助や自主企画など、さまざまな活動に取り組んでいます。

宇都宮市青少年活動センター(トライ東)
あそぼまつり 2025
入場無料
親子で楽しく!

7月27日(日)
11:00~15:00 最終入場14:30

【ゲームコーナー】
★ストラックアウト
★輪投げ
★キックターゲット
★スーパーボールすくい
★スライムづくり
★クラフトコーナー

【飲食コーナー】
★駄菓子
★飲み物
★カレー
★焼きとうもろこし
★フルーツポンチ

★スタンプラリー参加の場合子ども1人200円(未満100円)
★各ブース情報コーナーがございます。
★お申し込みは不要です! 会場センターまでお越しください。
★駐車場には数に限りがございます。
★お越しの際は、出来るだけ乗り合わせでお越しください。すず、ご協力下さい。

あそびにきてね!
宇都宮市青少年活動センター (トライ東)
宇都宮市今泉町3007番地 TEL:028-663-3155



ー 地域と YMCA をつなぐ、夏の恒例行事 ー

7 月 27 日 (日)、宇都宮市青少年活動センター (トライ東) にて「あそぼまつり」を開催いたします。

このお祭りは、とちぎ YMCA が宇都宮市青少年活動センターの指定管理を担ってから、地域の子もたちやご家族に向けた“開かれた場”として毎年開催している夏の恒例イベントです。

地域の皆さまに楽しんでいただくことはもちろん、YMCA の青少年育成の活動を知っていただくきっかけにもなっており、今では多世代が集い、ふれあい、笑顔があふれるあたたかな行事へと成長してきました。

運営には、地域の方々をはじめ、ワイズメンズクラブの皆さま、YMCA OBOG 会きらりの皆さま、高校生ボランティアスクールの学生など、多くの協力が寄せられており、YMCA のネットワークがこのお祭りを通してさらに広がってきていることを年々実感しています。

ゲームコーナーやクラフト体験、飲食販売、スタンプラリーなど、小さなお子さまから大人まで楽しめる企画をたくさんご用意しております。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。